

PC-9801用IBM3101端末エミュレータの使い方

中村 為雄*

PC-9801用IBM3101端末エミュレータはPC-9801にモデムを接続して、研究室や学外から内線電話や公衆回線を使って、情報科学センターのIBMシステムの7171（アスキー端末接続装置）に接続し、使用する目的で開発したエミュレーターです。ただし、漢字と文字のカラーとグラフィックはサポートされていません。

現在戸畑キャンパスの回線数は、内線は15番が10回線（1200,2400BPSで接続可能）、外線は（093）861-1106が1回線（1200,2400BPSで接続可能）です。これは暫定接続で、将来はもっと使いやすいように回線数を増やす予定です。IBM3101端末エミュレータプログラムは情報科学センターでコピーしてお使いください。プログラムはMS-DOSのN88BASICで書かれていてコンパイルしてあります。ソースプログラムも提供します。

操作手順

1. PC-9801にモデムを接続する

接続可能なモデムは一般に使われている非同期無手順通信で、通信速度は1200,2400BPSのいずれかを使用してください

2. 使用するモデムに合わせてPC-9801のディブスイッチ及びメモリースイッチをセットする

通信速度設定はメモリースイッチ SW2 で 1200=05,2400=06 としますが詳しくはPC-9801ユーザズマニュアルを見てください。

この操作はエミュレータを停止させて（[STOP]キーを押して改行キーを押す）

* 情報科学センター

5. 自動ダイヤル機能が付いていないモデムの場合

1. 学内から内線電話で接続する場合はモデムを通話状態にして受話器を取って内線15番をダイヤルすると、1～2回のコール音の後ピーギヤーとキャリー音が聞こえます。
学外から公衆回線で接続する場合はモデムを通話状態にして受話器を取って電話番号861-1106番をダイヤルすると、1～2回のコール音の後ピーギヤーとキャリー音が聞こえます。
学内から公衆回線で接続する場合はモデムを通話状態にして受話器を取って0をダイヤルして外線に接続し電話番号861-1106番をダイヤルすると、1～2回のコール音の後ピーギヤーとキャリー音が聞こえます。
2. モデムをデータにする（DATAと書かれているスイッチを押す）と接続が完了します。
3. 受話器を電話機に置き、6. の処理をします。

注 1 もしコール音が5回以上続く場合や、話中の場合は受話器を電話機に置いてから 1. のダイヤルコマンドの入力からやりなおします。

6. ターミナルタイプの入力

改行キーを押すと

ENTER TERMINAL TYPE: と表示されます

再び 改行キー を押すと

VALID TYPES ARE:

IBM3101 IBM316X

TV1912 TV1920 TV1950 TV1950R

ADM31 ADM3A

VT100

DM1520 DM1521 DM3045

TYPETERM

ROLM3270

ENTER TERMINAL TYPE: と表示されますので

IBM3101

と入力し、改行キーを押します。すると図-1のようなIBM TSSのオープニングメッセージが表示されます。これからはIBM端末操作の世界です。情報科学センターの端末を操作するのと同じようにPC-9801のキーボードを操作してください。但し、特殊なキーは図-2の様に割り当ててあります。割り当てられてない特殊キーをを使いたい場合は表-1のControl and Cursor Movement Keys と表-2の Program Function Keys を参考にして直接キーボードからエスケープシーケンスをキーインしてください。

```
*****
*   KYUKO-DAI (MVS/VM/VTAM NETWORK)   *
*****
```

図-1 オープニングメッセージ

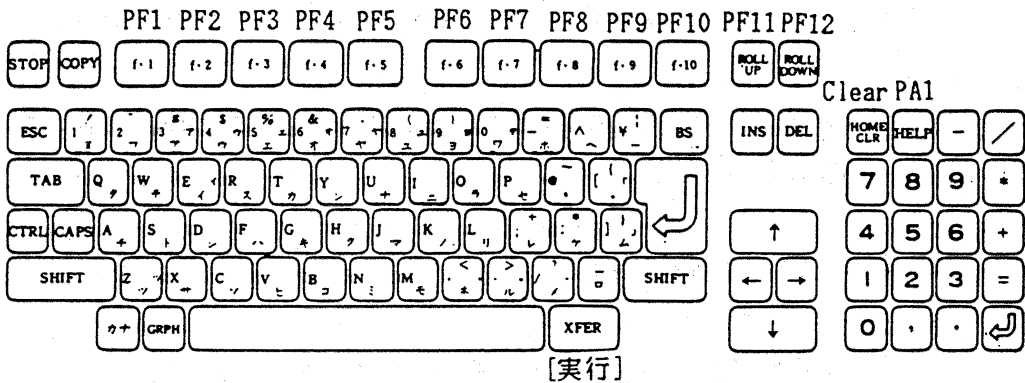


図-1 PC-9801M2のキー配列

7. CMSを使う場合の操作

ここではこの端末エミュレータでCMSを使う操作方法を中心に説明します。ただし、情報科学センターのIBM5540端末の操作になれている利用者を対象に指定しますので初心者、講習会や利用の手引などを利用して情報科学センターのIBM5540端末の操作に十分慣れてから操作してください。

7. 1. ログオンの方法

1. 飯塚キャンパスは ICMS[XFER] 戸畑キャンパスは TCMS[XFER] と入力します。すると図-3が表示されます。
2. [XFER] を押すと図-4が表示されます。
3. L TS****[XFER] とログオンコマンドとID番号を入力します。
4. *****[XFER] とパスワードを入力します。
5. ログオンが完了しメッセージが表示され画面右下に MORE... が表示されたら [CLR] キーを押して画面をクリアすると次のメッセージが表示されます。
6. センターニュースの表示画面では漢字が表示できないので [XFER] を押して表示中止にします。

これでCMSが自由に使えます。

何かの処理の終了は [f.3] キーを押すとたいてい抜け出します。

変な状態になったら [CLR] か [HELP] を押すとたいてい復帰します。

どうしてもならなくなったら、ログオフの方法の7. 2. 5. から実行してください。

表 - 1 Control and Cursor Movement Keys

Function	Corresponding ASCII Code Character Seq.
Enter	BS
Clear	ESC, L
Test Request	ESC, J, ESC, W
Local Print	ESC, W
DUP Character	VT
Fieldmark Character	FF
Cursor Select	ESC, K
Redisplay	SYN
Erase Input	ESC, J, ESC, K
Erase EOF	ESC, I
Delete Character	DEL
Toggle Insert Mode	ESC, J, DEL
Field Tab	HT
Field Backtab	ESC, J, HT
Column Tab	ESC, J, ESC, C or ESC, HT
Column Backtab	ESC, J, ESC, D or ESC, CR
Indent	ESC, J, ESC, A
Undent	ESC, J, ESC, B
PA1	ESC, J, COMMA or ESC, J, LESS or ESC, J, z
PA2	ESC, J, PERIOD or ESC, J, GREATER or ESC, J, x
PA3	ESC, J, SLASH or ESC, J, QUESTION or ESC, J, c
Newline	CR
Home	ESC, H
Cursor Up	ESC, A
Cursor Down	ESC, B
Cursor Right	ESC, C
Cursor Left	ESC, D

(Note 1) This character may be typed in as uppercase or lowercase character.

Figure B-6. Control and Cursor Movement Keys for the IBM Personal Computer running in 3101 Emulation Mode

表-2. Program Function Keys

FUNCTION	ASCII-CODE (-Sequence)
PFK 1	ESC, J, 1
PFK 2	ESC, J, 2
PFK 3	ESC, J, 3
PFK 4	ESC, J, 4
PFK 5	ESC, J, 5
PFK 6	ESC, J, 6
PFK 7	ESC, J, 7
PFK 8	ESC, J, 8
PFK 9	ESC, J, 8
PFK 10	ESC, J, 9
PFK 11	ESC, J, HYPHEN
PFK 12	ESC, J, EQUAL
PFK 13	ESC, J, EXCLAIM or ESC, J, q
PFK 14	ESC, J, AT or ESC, J, w
PFK 15	ESC, J, POUND or ESC, J, e
PFK 16	ESC, J, DOLLAR or ESC, J, r
PFK 17	ESC, J, PERCENT or ESC, J, t
PFK 18	ESC, J, UPARROW or ESC, J, y
PFK 19	ESC, J, AND or ESC, J, u
PFK 20	ESC, J, STAR or ESC, J, i
PFK 21	ESC, J, LPAREN or ESC, J, o
PFK 22	ESC, J, RPAREN or ESC, J, p
PFK 23	ESC, J, LBRACK or ESC, J, RBRACK or ESC, J, UNDER
PFK 24	ESC, J, BSLASH or ESC, J, BAR or ESC, J, PLUS
PFK 25	ESC, J, a
PFK 26	ESC, J, s
PFK 27	ESC, J, d
PFK 28	ESC, J, f
PFK 29	ESC, J, g
PFK 30	ESC, J, h
PFK 31	ESC, J, j
PFK 32	ESC, J, k
PFK 33	ESC, J, l
PFK 34	ESC, J, SEMI
PFK 35	ESC, J, QUOTE
PFK 36	ESC, J, LBRACE or ESC, J, RBRACE

(Note 1) This character may be typed in as uppercase or lowercase character.

Figure B-7. Program Function Keys for the IBM Personal Computer running in 3101 Emulation Mode